

平成25年度 予防接種ガイド



4.1

2013
(平成25年)

乳幼児、小・中・高校生等の予防接種

平成25年4月1日から、ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・子宮頸がん予防ワクチンが定期予防接種(4月1日の接種から無料)になりました。高齢者肺炎球菌ワクチンについては6月1日号広報、高齢者インフルエンザ予防接種は10月1日号広報で詳しくお知らせします。

1・2・3回 標準年齢 (数字は接種回数です)

対象年齢 (標準年齢外でも無料で接種できる範囲)

Ⓣ お知らせを郵送します。

種目	注 意	2 3 5 6 7 8 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 16 19 か か か か か か 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳 歳																			
		月	月	月	月	月	月	月	半	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
個別接種	ヒブワクチン	接種開始月齢と接種回数 ●2か月～7か月未満 4回(標準) ●7か月～1歳未満 3回 ●1歳～4歳11か月 1回	Ⓣ																		
	小児用肺炎球菌ワクチン(プレベナー)	接種開始月齢と接種回数 ●2か月～7か月未満 4回(標準) ●7か月～1歳未満 3回 ●1歳～2歳未満 2回 ●2歳～4歳11か月 1回	Ⓣ																		
定期予防接種(予防接種法による接種)	四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ)	●1期初回: 20日～56日までの間隔を空けて3回 ●1期追加: 初回完了後1年～1年半に1回 ●2期: 二種混合(ジフテリア・破傷風)で1回	Ⓣ																		
	結核(BCG)	●毎月、集団接種で実施。 ●BCG接種を1回 BCG・四種混合・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌のお知らせは、生後2か月になる月に郵送します。	Ⓣ																		
個別接種	麻しん風しん混合	●1期: 1歳～1歳11か月までに1回 ●2期: 小学校就学前の1年間に1回(平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれの方)	Ⓣ																		
	日本脳炎	●1期: 6か月(標準年齢は3歳)～7歳5か月 初回: 6日～28日までの間隔を空けて2回 追加: 初回完了後おおむね1年後に1回 ●2期: 9歳～13歳未満 接種1回																			
個別接種	子宮頸がん予防ワクチン	対象者と接種回数 (標準年齢は中学1年生) 小学6年生～高校1年生相当の女子 3回 (平成9年4月2日～平成14年4月1日生まれの方)																			
	三種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風)	●1期初回: 20日～56日までの間隔を空けて3回 ●1期追加: 初回完了後1年～1年半に1回 ●2期: 二種混合(ジフテリア・破傷風)で1回	Ⓣ																		
個別接種	不活化ポリオ(急性灰白髄炎)	●初回: 20日以上の間隔を空けて3回 ●追加: 初回完了後1年～1年半に1回																			

ちがう種目との接種間隔



- 生ワクチン接種は27日以上空ける(4週間後の同じ曜日から接種可能)
- 不活化ワクチン接種後は6日以上空ける(1週間後の同じ曜日から接種可能)

※接種当日は0日とし、翌日から数えます。

予防接種の通知について

予防接種は、接種当日に住民登録をしている区市町村で受けることになります。八王子市に住民登録のあるお子さんは、各予防接種の種目ごとに新たに標準年齢に達する月の上旬に通知書(お知らせ)を郵送します。(ただし、二種混合第2期は対象年齢に達した月の翌月の上旬に郵送します。)なお、通知は各予防接種の種目ごとに1回だけです。何回も続けて受けるもの(四種混合、日本脳炎など)は、受け忘れのないように注意してください。

標準年齢と対象年齢

予防接種には予防する病気やワクチンの性質上最適な接種年齢があり、それが「標準年齢」です。予防接種はこの標準年齢内に受けることが大切です。

乳幼児は体調をくずしやすく、他にもいろいろな事情でやむをえず標準年齢内に受けられないこともあります。その場合でも対象年齢内であれば無料で接種できますので、対象年齢内には接種を済ませましょう。対象年齢外になると接種費用は有料です。

※「○歳未満まで」と記載のあるものは、「○歳の誕生日の前々日まで」になりますので注意してください。

市外から転入された方へ

八王子市は予診票はそれぞれの個別接種実施医療機関または結核(BCG)接種会場に用意してあります。当日は「母子健康手帳」が必要です。八王子市以外の区市町村から転入された場合、転入届を出した時点で、お子さんがこれから受けようとしている予防接種の標準年齢にすでに達している場合などは、その予防接種の通知書(お知らせ)は郵送されません。(希望する方は、保健センターへご連絡ください。)転入届を出した後に個別接種実施医療機関に予約のうえ「母子健康手帳」を持って、お出かけください。また、結核(BCG)は、集団接種となりますので、日時と会場を保健センターに確認のうえ「母子健康手帳」を持って、お出かけください。

ヒブワクチン - 標準年齢は2～7か月未満に接種を開始

2～7か月歳未満に開始した場合 :27日～56日(4～8週間)までの間隔を空けて3回接種後、3回目の接種から7～13か月の間隔を空けて4回目接種。

7か月～1歳未満に開始した場合 :27日～56日(4～8週間)までの間隔を空けて2回接種後、2回目の接種から7～13か月の間隔を空けて3回目接種。

1歳～4歳に開始した場合 :1回のみ接種。

小児用肺炎球菌ワクチン - 標準年齢は2～7か月未満に接種を開始

2～7か月歳未満に開始した場合 :27日(4週間)以上の間隔を空けて3回接種後、3回目の接種から60日以上の間隔を空けた12～15か月齢に4回目接種。ただし、2回目、3回目は1歳未満で接種

7か月～1歳未満に開始した場合 :27日(4週間)以上の間隔を空けて2回接種後、2回目の接種から60日以上の間隔を空けた12か月齢後に3回目接種。ただし、2回目は1歳未満で接種

1歳～2歳未満に開始した場合 :1回接種後、60日以上の間隔を空けて2回目接種。

2歳～4歳に開始した場合 :1回のみ接種。

BCG(結核)予防接種 - 生後11か月まで(満1歳の誕生日の前日まで)と対象年齢が延びました。

平成25年4月1日より、対象年齢が生後5か月までから生後11か月までとなり、標準年齢も5か月～8か月と変更になりました。BCGは集団接種のため、実施日・会場が限られています。お知らせ(または市ホームページ)で日時と会場を確認の上、対象年齢を過ぎないように接種を受けてください。

四種混合ワクチン

平成24年11月より、三種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風)に不活化ポリオワクチンを追加したワクチンが使用できるようになりました。このワクチンは、三種混合、ポリオワクチン(不活化・生)をいずれも1回も受けていない方が、接種を受けます。

三種混合ワクチン

合計4回接種が必要です。「三種混合ワクチン」の接種が途中の方は、残りの回数を確実に受けて免疫を獲得するようにしてください。途中でワクチンを変えずに、はじめに受けたワクチンで4回接種を受けることになります。

生後3か月になり、はじめて接種を受ける方は、「四種混合ワクチン」を受けます。

不活化ポリオワクチン

経口生ワクチンを2回接種している方のポリオ予防接種は完了しており、不活化ポリオワクチンの接種は不要です。ポリオ予防接種がはじめての方は不活化ポリオワクチンを4回接種します。平成24年9月1日から、ポリオ(急性灰白髄炎)の予防接種は、経口生ポリオワクチンから不活化ワクチン(注射)に全面切り換えとなり、**通年での実施が可能になりました。経口生ワクチンを2回接種した方は、接種の必要はありません。**このほかの方(生ポリオワクチンを1回のみ接種している方、単独の不活化ポリオワクチンを1回以上接種して途中の方)は、残りを不活化ポリオワクチンで接種してください。不活化ポリオワクチンを4回接種している方は接種完了ですので、それ以上の接種は不要です。なお、経口生ワクチンを1回接種した方は、不活化ポリオワクチンを1回接種したとみなします。

日本脳炎特例接種

予防接種法の改正等に伴い、平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの方は、接種が不足している日本脳炎の予防接種が受けられるようになりました。接種費用は無料です。母子健康手帳で、日本脳炎の接種の記録を確認していただき、接種が終わっていない場合は、やり直しはせずに不足している回数の接種を受けるようにしましょう。個別のお知らせが届かなくても接種を希望する対象の年齢の方は日本脳炎の予防接種を受けることができます。なお、第2期の接種は第1期の接種完了後、間を6日以上あければ接種できますが、およそ5年経ってから接種を受けるのがよいとされます。また、**第2期は9歳より前には受けられません。**

麻しん風しん混合の特別接種

第1期または第2期の接種を受けられなかった小学校2年生までの方には、特別接種により公費で接種できる制度があります。保健センターで発行する「**特別接種申請書**」が必要です。詳しくはお問い合わせください。

子宮頸がん予防ワクチン - 標準年齢は中学1年生

小学6年生～高校1年生相当(平成9年4月2日～平成14年4月1日生まれ)の女子ワクチンは「サーバリックス」と「ガーダシル」の2種類ありますが、接種はどちらか1種類のみです。同じワクチンで3回接種します。どちらも接種を完了するのに半年ほどかかり、ワクチンによって接種スケジュールが異なります。それぞれのワクチンの詳細については、製薬会社のホームページ等をご覧ください。

年度の途中で、制度の改正・ワクチンの変更があった場合は、広報はちおうじや市のホームページでお知らせいたします。